

令和3年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る中間評価結果

領域番号	8106	領域略称名	ポストコッホ生態
研究領域名	超地球生命体を解き明かすポストコッホ機能生態学		
領域代表者名 (所属等)	高谷 直樹 筑波大学・生命環境系・教授		

(評価結果)

A－（研究領域の設定目的に照らして、概ね期待どおりの進展が認められるが、一部に遅れが認められる）

(評価結果の所見)

本研究領域は、微生物学に微細加工や顕微分光などの工学技術を融合し新たな微生物解析技術を開発することにより、生態系で重要な役割を果たしていながら分離・解析されていない微生物やその機能を基盤とした新たな生態系モデルの構築を目指す意欲的な研究である。

ハイスループットな分離培養のためのマイクロデバイスの開発、顕微ラマン分光と機械学習を組み合わせた一細胞レベルでの細菌種の識別など、新規微生物を分離培養するための基盤技術の構築が着実に進められている点は評価できる。

一方、モデル圃場を用いた現在の研究から、いかにして多様な生態系へと展開されるのかについて、現時点では不明瞭な部分もあるため、今後、具体化が進められていくことが望まれる。また、生態系モデル構築を行うために十分な質・量のデータを収集するために、領域に参画している様々な専門家間での議論、検討を一層進め、更なる測定体制の整備が進められることが望まれる。